

R 4 年大豆栽培農事メモ 第3号
(里のほほえみ版)

令和 4 年 7 月 21 日
白山石川営農推進協議会
石川県農業共済組合
松任市農業協同組合

1 生育状況

- 管内の里のほほえみの開花盛期は、7月25日頃と予想されます。
- 培土を終えたほ場等では生育が旺盛になっており、より多くの水分が必要な状況となっています。
- 梅雨明け以降、高温・多日照や急激な降雨など、変化の激しい気象が続いています。このため気象の変化に注意し、ほ場の状態にあった管理（かん水・排水）を実施してください。



2 早急に培土と追肥を実施しましょう！

- 生育量を確保するため、一発肥料を用いていない圃場では2回目の培土と追肥を速やかに実施しましょう。（葉色が薄い場合は特に積極的に実施）

播種区分	培土・追肥時期	追肥（肥料名、施用量）
6月播種	7月末まで	硫安 10kg/10a または NK17号 12kg/10a

3 高温乾燥時や強風時は、うね間かん水を実施しましょう！

- 開花期（7月中下旬）～莢伸長期（8月上・中旬）にかけては干害の影響を受けやすく、圃場の乾燥が続くと着莢数が減り減収します。
- 今後、晴天が続き、5日以上連続で降雨がなく、うね間が白く乾いたら、葉が裏返る前に早めにうね間かん水を実施しましょう。
- うね間かん水は、地温の低い夕方から早朝にかけて行いましょう。
- うね間かん水を円滑に実施するため、うね間のつなぎや排水溝等の点検を行い、入排水がスムーズにできるようにしましょう。



4 除草対策・除草剤の散布により雑草の発生を抑えましょう！

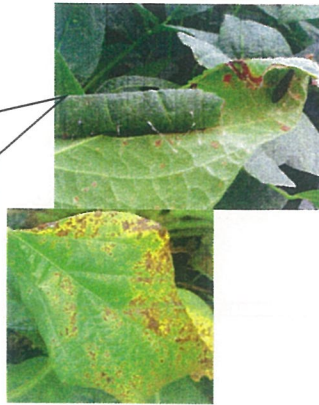
※いずれの除草剤も大豆にかかると枯れるため、注意して散布して下さい。

除草剤名	適用雑草名	使用時期 [収穫前日数]	10a 当たり使用量 (希釈水量)	散布方法	使用回数
バスタ液剤	畑地一年生雑草 【非選択性】	畦間処理：雑草生育期 [収穫 28 日前まで]	300～500 mL (100～150L)	雑草茎葉散布	3 回以内
プリグロックス L	畑地一年生雑草 【非選択性】	畦間処理：雑草生育期 (草丈 30cm 以下) [収穫 3 日前まで]	600～1000 mL (100～150L)		4 回以内
ラウンドアップ マックスロード	畑地一年生雑草 【非選択性】	畦間処理：雑草生育期 [収穫前日まで]	200～500 mL (通常散布 50～100L) (少量散布 25～50L)		2 回以内

5 的確な防除で収量・品質向上に努めましょう！



里のほほえみには、ウコンノメイガや葉焼病が発生しやすく、子実肥大期の葉の損傷による充実低下がおきやすいので、初発時の薬剤防除を的確に行ってください。



ドローンを用いた防除体系

	生育ステージ	使用時期 の目安	使用薬剤名 [収穫前日数]	10a 使用液 量 ／倍率	対象病害虫	使用 回数
1 回 目	開花終期	7/25～30	混) アミスター 20 プロアブル [収穫 7 日前まで]	0.8ℓ 16～24 倍	紫斑病	2 回 以内
			混) カスケード乳剤 [収穫 7 日前まで]	0.8ℓ 32 倍	カメシ類 ハスモンヨトウ、ウコンノメイガ、ハダニ類	2 回 以内
2 回 目	子実肥大初期	8/9～13	トレボンエアー [収穫 14 日前まで]	0.8ℓ ／8 倍	ハスモンヨトウ、カメシ類 マメシクイガ	2 回 以内
3 回 目	子実肥大後期	8/29 ～9/2	スタークル液剤 10 [収穫 7 日前まで]	0.8ℓ ／8 倍	カメシ類、ダース サタマハエ	2 回 以内
随 時	開花期～幼莢期 (7 月下旬～ 8 月上旬)	ウコンノメイガ 初発時	プレバ ソンプロアブル 5 [収穫 7 日前まで]	0.8ℓ 16～32 倍	ウコンノメイガ、ハスモンヨトウ、 マメシクイガ、オオハコガ	2 回 以内
随 時	子実肥大期後期 以降	ヨトウ カメムシ 多発時	トレボンエアー [収穫 14 日前まで]	0.8ℓ ／8 倍	ハスモンヨトウ、カメシ類 マメシクイガ	2 回 以内



農薬・除草剤の使用では、使用基準を守り適正に使用し、周囲への飛散に注意するとともに、作業は熱中症予防のため、特に暑い日は無理をしないようお願いします

R4年大豆栽培農事メモ 第3号

(里のほほえみ版)

令和4年7月21日
白山石川営農推進協議会
石川県農業共済組合
松任市農業協同組合

1 生育状況

- 管内の里のほほえみの開花盛期は、7月25日頃と予想されます。
- 培土を終えたほ場等では生育が旺盛になっており、より多くの水分が必要な状況となっています。
- 梅雨明け以降、高温・多日照や急激な降雨など、変化の激しい気象が続いています。このため気象の変化に注意し、ほ場の状態にあった管理（かん水・排水）を実施してください。



2 早急に培土と追肥を実施しましょう！

- 生育量を確保するため、一発肥料を用いていない圃場では2回目の培土と追肥を速やかに実施しましょう。（葉色が薄い場合は特に積極的に実施）

播種区分	培土・追肥時期	追肥（肥料名、施用量）
6月播種	7月末まで	硫安 10kg/10a または NK17号 12kg/10a

3 高温乾燥時や強風時は、うね間かん水を実施しましょう！

- 開花期（7月中下旬）～莢伸長期（8月上・中旬）にかけては干害の影響を受けやすく、圃場の乾燥が続くと着莢数が減り減収します。
- 今後、晴天が続き、5日以上連続で降雨がなく、うね間が白く乾いたら、葉が裏返る前に早めにうね間かん水を実施しましょう。
- うね間かん水は、地温の低い夕方から早朝にかけて行いましょう。
- うね間かん水を円滑に実施するため、うね間のつなぎや排水溝等の点検を行い、入排水がスムーズにできるようにしましょう。



4 除草対策・除草剤の散布により雑草の発生を抑えましょう！

※いずれの除草剤も大豆にかかると枯れるため、注意して散布して下さい。

除草剤名	適用雑草名	使用時期 [収穫前日数]	10a 当たり使用量 (希釈水量)	散布 方法	使用 回数
バスタ液剤	畑地一年生雑草 【非選択性】	畦間処理：雑草生育期 [収穫28日前まで]	300～500 mL (100～150L)	雑草茎葉散布	3回以内
プリグロックスL	畑地一年生雑草 【非選択性】	畦間処理：雑草生育期 (草丈 30cm 以下) [収穫3日前まで]	600～1000 mL (100～150L)		4回以内
ラウンドアップ マックスロード	畑地一年生雑草 【非選択性】	畦間処理：雑草生育期 [収穫前日まで]	200～500 mL (通常散布 50～100L) (少量散布 25～50L)		2回以内

5 的確な防除で収量・品質向上に努めましょう！



里のほほえみには、ウコンノメイガや葉焼病が発生しやすく、子実肥大期の葉の損傷による充実低下がおきやすいので、初発時の薬剤防除を的確に行ってください。



(1) 粉剤防除

	生育ステージ	使用時期の目安	使用薬剤名 [収穫前日数]	10a 当たり 使用量	対象病害虫名	使用 回数
1 回目	開花期～幼莢期	7月25日 ～30日	Z ボルドー粉剤 DL [-]	3 kg	紫斑病（葉焼病）	—
			スミチオン粉剤 3DL [収穫21日前まで]	4 kg	カメシ類、マシクイガ	4回 以内
2 回目	子実肥大初期	8月9日 ～13日	スミチオンベルコート 粉剤 DL [収穫21日前まで]	3 kg	紫斑病、カメシ類、 マシクイガ	4回 以内
3 回目	子実肥大後期	8月29日 ～9月2日	トレボン粉剤 DL [収穫14日前まで]	4 kg	カメシ類、シロイモシ ダラメイガ、マシクイ ガ、ハモンヨトリ、ア ブラムシ類、他	2回 以内
随 時	開花期～幼莢期 (7月下旬～8月上旬)	ウコンノメイガ 初発時	ダントツ粉剤 DL [収穫7日前まで]	4 kg	ウコンノメイガ	2回 以内
	子実肥大後期 以降	カメシ類多発時	MR. ジョーカー粉剤 DL [収穫7日前まで]	4 kg	カメシ類	2回 以内

(2) 液剤防除

	生育ステージ	使用時期の目安	使用薬剤名 [収穫前日数]	希釈倍数 (10a 当たり 使用液量)	対象病害虫名	使用 回数
1 回目	開花期～ 幼莢期	7月25日 ～30日	Z ボルドー水和剤	500 倍 (100～300L)	紫斑病、葉焼病 斑点細菌病	—
			カスケード乳剤 [収穫7日前まで]	4,000 倍 (100～300L)	カメシ類、ハモンヨトリ ウコンノメイガ	2回 以内
2 回目	子実肥大初期	8月9日 ～13日	トレボン乳剤 [収穫14日前まで]	1,000 倍 (100～400L)	紫斑病、カメシ類	2回 以内
3 回目	子実肥大後期	8月29日 ～9月2日	スタークル液剤 10 [収穫7日前まで]	1,000 倍 (100～300L)	マシクイガ、アブラムシ カメシ類、ハモンヨトリ、 ウコンノメイガ	2回 以内
随 時	開花期～幼莢期 (7月下旬～8月上旬)	ウコンノメイガ 初発時	プレバソンフロアブル 5 [収穫7日前まで]	4,000 倍 (100～300L)	ウコンノメイガ	2回 以内
	子実肥大後期 以降	カメシ類多発時	トレボン乳剤 [収穫14日前まで]	1,000 倍 (100～300L)	カメシ類、ハモンヨトリ マシクイガ アブラムシ、ヒメハムシ他	2回 以内



農薬・除草剤の使用では、使用基準を守り適正に使用し、周囲への飛散に注意するとともに、作業は熱中症予防のため、特に暑い日は無理をしない！